

所管課		都市づくり部都市創生課														
施策の大綱	まちづくりの目標(章)		施策分野(節)		施 策											
	第4章 安全安心都市		08 交通体系		01 公共交通ネットワークを充実する											
事業：交通対策事業													整理番号	0295		
目的	市民の生活手段として、公共交通の確保及び利便性の向上。															
目標	平成24年度のバス利用者数以上を確保。 公共交通空白・不便地域の解消。															
事業費・財源	事業費（決算額）(千円)		62,904		コスト情報・評価	総コスト（千円）		83,337		総合評価 B	妥当性		A			
	財源内訳	一般財源		62,904		内訳	事業費		62,904		効率性		B			
		国庫支出金		0			人件費		20,433		有効性		A			
		地方債		0			公債費		0		日野・滝畑コミュニティバスの利用者数は増加したが、モックルコミュニティバス及び岩湧線の利用者数は減少したため。					
		その他特定財源		0			一人あたり(円)		746							
							世帯あたり(円)		1,763						評価理由	
	貢献度		施策に対する事業貢献度			A		根拠		公共交通の確保及び利便性の向上を図る事業であるため。						
今後の方向性	「第2期河内長野市地域公共交通総合連携計画」に基づく取組みを進め、持続発展できる公共交通を確保する。															

事業 優先順位		1		細事業：公共交通対策事業				整理 番号		08									
目 的		本市の状況に即した持続・発展できる公共交通体系の構築。																	
目 標		本市の状況に即した持続・発展できる公共交通体系を構築するため、5回の河内長野市地域公共交通会議開催をめざす。																	
事業 実施主体		直 営		事業開始 年 度		平成21年度		根拠 法令											
事業費・財源			平成25年度		平成24年度		比 較		コスト 情報・従 事職員数			平成25年度		平成24年度		比 較			
	事業費（決算額）（千円）		6,749		5,075		1,674			総コスト（千円）		22,760		20,945		1,815			
	財源内訳	一般財源		6,749		5,075		1,674		内 訳	事業費		6,749		5,075		1,674		
		国庫支出金		0		0		0			人件費		16,011		15,870		141		
		地方債		0		0		0			公債費		0		0		0		
		その他特定財源		0		0		0			一人あたり（円）		204		186		18		
				0						世帯あたり（円）		482		444		38			
				0						参 考	職員数（人）		2.10		2.00		0.10		
			0								再任用職員数（人）		0.00		0.00		0.00		
	今 後 の 方 向 性		本市の状況に即した持続・発展できる公共交通体系の構築に向けて、「第2期河内長野市地域公共交通総合連携計画」に基づく、さまざまな取組みを進め、さらなる公共交通の利用促進を図る。																
評 価	妥当性		効率性		有効性		対象者		公共交通利用者 概数：バス・タクシー等の公共交通利用者										
	A		A		A														

事業：交通対策事業

平成24年度のバス利用者数以上を確保し、公共交通空白・不便地域※の解消を目標として、モックルコミュニティバス、日野・滝畑コミュニティバス、楠ヶ丘地域乗合タクシーの運行を実施するとともに、一般乗合バス路線（岩湧線）の存続のため、南海バス㈱に補助金を交付した。

＜市が経費負担して運行しているバス路線の年間乗車人員数＞

（⇒岩湧線、日野・滝畑コミュニティバス、モックルコミュニティバスの年間乗車人員数の合計）

年度	利用者数
24年度	166,479人
25年度	164,831人



※ 公共交通空白・不便地域

…駅から1km、バス停から500m以内で、かつ、平日に8便以上の公共交通の運行本数があるエリアを公共交通利用可能エリアと設定し、これら以外の住宅地域を公共交通空白地域としている。

公共交通利用可能エリアであるが、駅・バス停の両方から500m以上離れている住宅地域を公共交通不便地域としている。

細事業：公共交通対策事業

1. 河内長野市地域公共交通会議の開催

本市の状況に即した持続・発展できる公共交通体系を構築するため、河内長野市地域公共交通会議を開催し、「第2期河内長野市地域公共交通総合連携計画」などに基づく具体的な取り組みの検討、実施を行った。

河内長野市地域公共交通会議の開催回数 5回



2. モックルコミュニティバス上限200円運賃の試行運行

河内長野市地域公共交通会議に補助金を支払い、モックルコミュニティバス上限200円運賃の試行運行を実施した。

地域公共交通会議事業補助金（上限200円運賃の実施に伴う経費増加分を補助） 1,322,101円

3. 路線バス千代田線上限200円運賃の試行運行

河内長野市地域公共交通会議に補助金を支払い、路線バス千代田線上限200円運賃の試行運行を実施した。

地域公共交通会議事業補助金（上限200円運賃の実施に伴う経費増加分を補助） 1,741,400円

4. バスマップの作成、配布

「河内長野市バスマップ」（1部5枚綴り・クリアファイル入り）を50,000部作成し、平成25年の11月号広報紙に折り込み全戸配布するとともに、転入者に配布した。

5. 観光資源と路線バスを活用した取り組みの実施

「河内長野市バス旅ガイド」（チラシ）を5,000部作成し、駅、観光案内所、観光施設、公共施設などで配布した。

6. 楠ヶ丘地域乗合タクシーの運行

公共交通不便地域解消のため、楠ヶ丘地域乗合タクシーの運行を実施した。

地域公共交通サービス運行負担金 1,999,600円

利用者数 29,749人

